

# 人権・同和教育シリーズ No.102

## いじめと差別 西条市教育委員会

昨年、滋賀県で開催された研究集会に参加し、大阪人権博物館理事長の成山治彦氏の「いじめと差別」という講演を聞く機会がありました。教育・啓発活動を進めるうえで大変参考になる学びがありましたので、そのことを紹介させていただきます。

一つ目は、「いじめと差別は同質」ということです。「いじめによって学校に行けなくなる、学ぶ権利が奪われる、自殺に追い込まれる。紛れもない人権侵害です。いじめられている子は、人間としての誇りが奪われている状況です。」

また、いじめは、往々にして事実に基づかない噂や、偏見がきっかけになっていきます。いじめの理由が、差別と同じように、いわれない噂や偏見であることも多いのです。

あるいは、現象として見える実態の背景に思いが至らず、短絡的な反応をして、いじめの例も少なくありません。このことは、同和教育の出発のときに、実態面から部落差別が助長され、この差別をなくすためには、この実態が差別の結果としてもたらされている

ことを学ばなければならぬいとされたことと重なります。」

二つ目は、「いじめの構造は差別の構造」ということです。「差別と同様、加害者と被害者がいて、いじめが成り立っているが、長期にわたるいじめは、いじめを見て見ぬふりをする傍観者や、中にははやし立てる層があることによって成り立っていきます。」

差別の問題も、今なお後を絶たないのは、多くの国民が自分は差別する側ではないけれども、差別に対して異を唱えない。この意識の中に、今日なお差別を温存させている大きな社会意識の問題があるのではないかと思えます。いじめの傍観者も実は同じ意識だと思えます。もう一つの問題は、「いじめられるほうにも問題がある」という誤った見方です。部落差別は被差別者に問題があるのでは決してないということと同じということです。」

人権・同和教育は、差別された人の痛みを共有することから出発しました。いじめを克服する教育も、スタートは同じだと思えます。

ることを学ばなければならぬいとされたことと重なります。」

二つ目は、「いじめの構造は差別の構造」ということです。「差別と同様、加害者と被害者がいて、いじめが成り立っているが、長期にわたるいじめは、いじめを見て見ぬふりをする傍観者や、中にははやし立てる層があることによって成り立っていきます。」

差別の問題も、今なお後を絶たないのは、多くの国民が自分は差別する側ではないけれども、差別に対して異を唱えない。この意識の中に、今日なお差別を温存させている大きな社会意識の問題があるのではないかと思えます。いじめの傍観者も実は同じ意識だと思えます。もう一つの問題は、「いじめられるほうにも問題がある」という誤った見方です。部落差別は被差別者に問題があるのでは決してないということと同じということです。」

人権・同和教育は、差別された人の痛みを共有することから出発しました。いじめを克服する教育も、スタートは同じだと思えます。

### サマージャンボ宝くじ発売!

1等・前後賞合わせて5億円!  
2000万サマーと同時発売

- 発売期間 7月10日(水)～8月2日(金)
- 抽選日・販売価格 8月13日(火) 1枚 300円
- 発売場所 最寄りの宝くじ売り場など



※この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

**ありがとうございました**

次の方々からまごころ銀行にご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。  
(順不同 敬称略)

- 個人
  - 近藤 信 (国安)
  - 青野奉文 (高田)
  - 武本 徹 (高田)
  - 真鍋市子 (丹原町高松)
- 各種団体
  - リメイクさざんか
  - さくらクラブ
  - 国際ソロプチミスト西条
  - 村上記念病院
  - 竹の子カラオケ会
  - てんまり
  - (株)こっこー
  - 小松山草会 小松盆栽教室
  - 小松陶芸クラブ

### 海の事故ゼロキャンペーン 全国海難防止強調運動 7月16日(火)～31日(水)

「海難ゼロへの願い」をスローガンに、海難防止思想の普及・高揚を図ることにより、海難の発生を防止することを目的に実施しています。

- ①見張りの徹底および船舶間コミュニケーションの促進
- ②小型船の安全対策の徹底



うみまる

うーみん

今治海上保安部  
海難防止強調運動今治地区推進連絡会議

### マリンレジャー集中安全推進活動期間 7月1日(月)～8月31日(土) プレジャーボート等に対する 積極的指導・取締期間 7月1日(月)～8月31日(土)

今治海上保安部では、「海で安全に楽しく遊ぶために～大切な命を自分で守る～」をテーマに、次の3つを基本とする「自己救命策確保」を推進しています。

- 【浮力確保】
- ①ライフジャケットの常時着用
- 【速やかな救助要請】
- ②防水パック入り携帯電話などの連絡手段の確保
- 【海の事件・事故は118番】
- ③海上保安庁への緊急通報用番号「118番」の有効活用

今治海上保安部警備救難課 TEL0898-22-0118